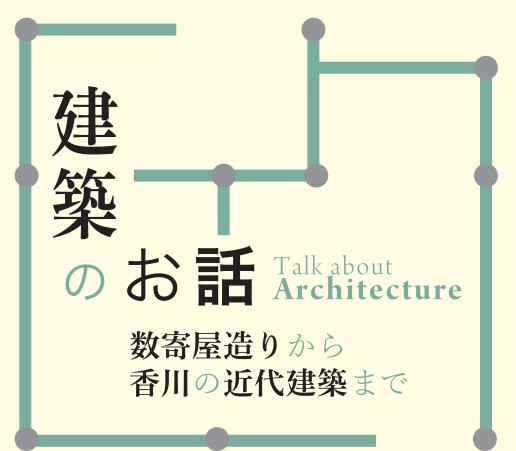
原久子・高松市美術館アートアドバイザーが、多彩な観点からアートにまつわる話題を繰り広げるアートアドバイザー講座。このたびは、日本の伝統的建築研究の第一人者、矢ヶ崎善太郎さん (大阪電気通信大学教授) をお招きし、数寄屋造りから香川の近代建築まで、建築にまつわる多彩なお話を伺います。



2025年 10月26日(日) 15:30~16:30

●会場:高松市美術館エントランスホール

●講師:矢ヶ崎善太郎(大阪電気通信大学教授) ●聞き手:原久子(高松市美術館アートアドバイザー)

●主催:高松市美術館 ●定員:先着50人(申込不要)/会場に直接お越しください。

*やむをえない事情により、講座内容、日程等が変更となる場合があります。 その場合は当館 HP 等でお知らせします。

聞き手略歴 原久子(はらひさこ)

京都市生まれ。90年代よりアーティスト・イン・レジデンス、アートスペースの調査研究、アートプロジェクトの企画・運営、雑誌・新聞等への執筆、編集、コンサルティングなどに携わる。大阪電気通信大学総合情報学部教授。高松市創造都市推進審議会委員。2023年度より当館アートアドバイザーを務める。

講師略歴 矢ヶ崎 善太郎 (やがさきぜんたろう)

建築史家、大阪電気通信大学教授、博士(学術、京都工芸 繊維大学)。日本建築史、庭園史、伝統建築技術を専門 とする建築史家。特に茶室や数寄屋建築の研究に精 通し、古文書や発掘成果から失われた茶室の復元も 手掛ける。長年にわたり、文化財建築の調査研究や 保存活用計画に携わり、全国各地の歴史的建造物や 伝統的な街並みの保全に貢献。主な編著書に『庭と 建築の煎茶文化』、『水郷の数寄屋 臥龍山荘』など 多数。

T . _

高松市美丽館

〒760-0027 高松市紺屋町10-4 TEL: **087-823-1711**